

## 社会・文化・福祉



キーワード：身体、相互行為、ビデオ・エスノグラフィー

身体の動きから声ならざる“声”をきく

現代社会学部 現代社会学科 教授  
**堀田 裕子** HOTTA Yuko

### 研究の内容

人間の身体は、社会環境や人間関係によって「つくられる」側面があるとともに、顕在意識とは異なるかたちで、あるいは、意識に先んじて動くことがあるように社会環境や人間関係を「つくる」側面もあります。したがって、身体とその動きは社会的アプローチが必要な対象だと言えますが、アンケートやインタビューだけで調査・研究することが難しい対象でもあります。

私が専門とする「ビデオ・エスノグラフィー」は、行為者が意識せずに行なっていることを分析できる調査手法です。この手法を用いて、①在宅療養場面と②試着接客場面を研究しています。①では、言葉による意思疎通が困難な人々や認知に問題を抱える人々が介助者らと関わり合う様子を分析し、当事者たちの思いや療養生活での工夫などを明らかにしました（図1）。②では、客が自分に合う衣服を求める過程や店員との相互行為の様子を分析し、試着が店員との協働作業であることや衣服と身体とが相互に変形的な関係性にあることが見えてきました（図2）。また、②に関連して、現代社会において身体加工を含む「装う」という行為のもつ意味についても研究しています。



図1 拙著『意識としての身体—在宅療養現場のビデオ・エスノグラフィー』

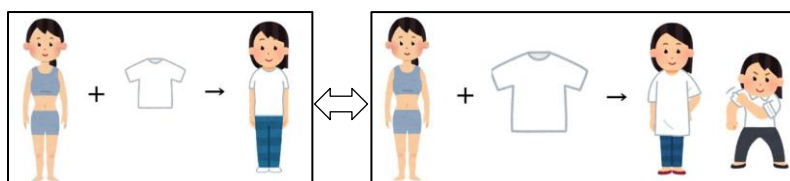


図2 身体と衣服との組成的な(formative)観点(左)と、ビデオ・エスノグラフィーで見出した相互に変形的な(deformative)観点(右)

### 産学連携・社会連携へのアピールポイント

ビデオ・エスノグラフィーの手法で人々の相互行為とその身体的動きを分析することで、アンケートやインタビューでは明らかにならない、言外の意識や行為の意味を探究することができます。医療・福祉やファッションの領域だけでなく、様々なサービス提供場面におけるクライアントの潜在ニーズやウォンツを探ったり、空間配置や関わりのあり方を考えたりすることに応用できます。

### 研究者総覧（堀田 裕子）

URL：[https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/200000571\\_ja.html](https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/200000571_ja.html)

